

は じ め に

埼玉県立文書館は、埼玉県に関する歴史的・文化的価値のある古文書、行政文書、地図などの資料を体系的に収集・整理し、県民共有の財産として永く後世に伝えていくことを目的に、昭和44年（1969）に設立されました。

県内外の皆様方から御寄贈・御寄託いただきました古文書は、現在までに総点数50万点を超えました。当館ではこれらの古文書の整理を進めるとともに、閲覧利用の便を図るために収蔵文書目録を編集・刊行してまいりました。令和7年度は、第64集として「根岸家文書目録（2）」を刊行いたします。

根岸家文書は、当初昭和36年（1961）に埼玉県立図書館へ御寄託いただいた、総点数7,000点以上に及ぶ文書群です。同42年には、約4,000点を収録する『近世史料所在調査報告2 武蔵国大里郡甲山村 根岸家文書目録』が刊行されました。この度、第1巻の刊行から約60年を経て、第2巻を刊行する運びとなりました。

本目録では、令和7年度に新たに整理を行った2,245点の文書を収録します。根岸家は、江戸時代中期以降に武蔵国大里郡甲山村（現埼玉県熊谷市）の名主等を、明治時代以降には戸長、副区長、県会議員、貴族院議員等を務めた家で、特に幕末・明治時代の当主であった根岸友山・武香父子の幅広い活動が注目されています。今回整理を行った文書には、彼らの交際関係を示す書状類が多く含まれています。

これらの文書は、長らく目録刊行と閲覧提供が待望されてきました。本目録の刊行が、生涯学習や学校教育あるいは歴史、地理などの学術研究に幅広く活用されるであろうことを願っています。

末筆ながら、本目録の刊行に当たり、貴重な古文書を御寄託くださいました根岸家の皆様をはじめ、御協力いただきました関係各位に厚くお礼を申し上げ、御挨拶といたします。

令和8年3月

埼玉県立文書館長 高 津 導